## ○ ハンセン病　Hansen's disease　（らい　leprosy）

らい菌　Mycobacterium leprae　が起炎菌。

らい予防法の廃止により

1996 年 4 月　厚生省により「らい病」の名称は用いられなくなった。

2007 年　日本の患者数　日本人 1 人、　外国人 10 人

インド　137,685 人、ブラジル　39,125 人、インドネシア　17,723 人

〔病型〕

| | レプロミン反応 |
|---|---|
| 類結核型　tuberculoid type: T 型<br>細胞性免疫優性、菌は少なく予後良好 | ＋ |
| 境界群　borderline group: B 群 | 中間型 |
| らい腫型　lepromatous type: L 型<br>菌は多数 | － |

〔レプロミン反応〕

らい菌を煮沸滅菌したものを 0.5 % 石炭酸加生理食塩水に調整。この 0.1 ml を皮内に注射。

早期反応（Fernandez 反応）　48 時間後 → 発赤、遅延型アレルギー反応

晩期反応（光田反応）　2～3 週間後 → 硬結、肉芽腫反応

〔診断〕

①〔 知覚 〕障害を伴った皮疹を認める。

②〔 末梢 〕神経の肥厚があり、その支配領域に知覚または運動障害を認める。

③ 病巣から抗酸菌の菌体を検出できる。

以上の 3 項目中 1 つでも認められれば、Hansen 病を疑う。

④病理組織所見

〔治療〕

Rifampicin　の 3 剤併用療法

diamino-diphenyl-sulfone; DDS　半年または 1 年の内服

clofazimine :CLF　INH は無効

{ ofloxacin, clarithromicin, mino cyclin } 保険非対応

も有効

患者を診察したときは、日本ハンセン病協会に連絡してほしい。

保険適応疾患となった。